

キャラクター名 サラリス・D・スカーレット	プレイヤー名
--------------------------	--------

シンドローム	ブラム=ストーカー エグザイル	ワークス	FHチルドレンA	カヴァー	可憐な少女
オプション		年齢	16	性別	女
覚醒	渴望	衝動	飢餓	初期侵食率	31 %
出自	名家の生まれ	経験	夢	邂逅	愛情

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	127
肉体	3		0			3	行動値	2
感覚	3		0			3	(非装備時)	7
精神	1		0			1	戦闘移動	12
社会	1		0			1	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:	FH	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ		能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ガードシールド&守護者の手袋	白兵	3r+2	9	1			1回/1Rガード値+5

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
FHバトルアーマー		15	-5	-5	HPダメージ10点軽減

所持品	
思い出の心臓	

合計装甲:	15	合計回避:	-5
-------	----	-------	----

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
[54] 装着者/アイテムユーザー	P	N		
運命の相手…□	P 純愛	N 偏愛		
恋とか愛とかそういうのです	P 傾倒	N 食傷		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	10	残り財産P:	
--------	----	--------	--

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
異形の刻印	10	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	最大HP+Lv×5							
血色の花嫁	1	3	セットアップ	至近	単体	自動	-	
効果:	HP消費を肩代わりさせる							
紅のベーゼ	6	2	セットアップ	至近	単体	自動	リミット	
効果:	対象死亡、最大HP+Lv×10、1回/1シーン							
崩れずの群れ	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	カバリング可能							
命のカーテン	3	4	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	10m以内もカバリング可能、Lv回/1S							
守護者の巨壁	1	6	オート	至近	効果参照	自動	リミット	
効果:	対象の攻撃を単体化&タゲ引き、1回/1S							
不死者の恩寵	3	5	クリンナップ	至近	自身	自動	-	
効果:	HP(Lv+2)D+【肉体】点回復、1回/1シーン							
デモンズウェブ	5	2	オート	10m	単体	自動	80%	
効果:	HPダメージ (Lv+1) D、1回/1R							
ハイブリーディング	1	6	オート	至近	自身	自動	120%	
効果:	エフェクト使用回数1回復、1回/1S							
喰らい尽くす霧	3	7	オート	視界	範囲(選択)	自動	120%、飢餓	
効果:	対象のHPダメージ (Lv+3) D、ラウンド間-3D、1回/1R							
濃縮体	1							
効果:	異形の刻印の係数×2							
メモリー：椿紅サトシ	1							
効果:	バックトラック時侵食値-10点							
瀉血	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	美しい容姿と健康を保つ							

恋焦がれたダーリンを身を挺して守るため、愛する人の血肉を喰らう恋に恋する乙女。筋金入りの恋愛脳で、すべてはいま現在恋い焦がれている相手のために動き、彼（または彼女やそれ）との愛し愛されあう関係が永遠に続くことを熱望し、見初めあったその日から互いが互いのために尽くしあう義務があると考えている。その延長線上として、「運命の人を身を挺して守ることこそが愛する相手に対しての最大の献身の示し方であり、そんな献身を受け止めてくれるだけの愛を向けてくれる運命の人は、腕の一つくらい惜しくもないだろう」というような身勝手極まりない恋愛哲学に基づいて、彼女は将来伴侶となると信じてやまない目の前の男の身体の一部を喰らうことでジャームの2.3倍のスタミナを獲得し、死に物狂いで（まあ死なないのだが）彼氏とその仲間たちを守り切る。ジャームやオーヴァードがもたらすと予想された被害は、彼女が要求した愛の代償よりもずっと少ないというケースも度々あるのだが、彼女にとっては関係がない。彼女自身は所属する組織なぞ心底どうでもよい。よいのだが、吸血衝動も食欲も向もなく、純粋な愛の証明としてその犠牲を要求する彼女は、あらゆる組織からは単独で好き勝手に暴れまわるFHチルドレンだと記録されている。

繰り返しになるが、常時恋愛脳フルスロットルの恋愛至上主義者。いまだ出会うことのない運命の相手を探し求めており、互いを慈しみ、愛し合えると確信した相手が現れた瞬間、彼と自分は両思いだと思い込み、愛し愛されの関係を要求する。惚れっぽい訳ではないがこれまで「運命の赤黒い糸でぐるぐる巻きにされている」と見初めた相手は片手で取らず、そのほとんどが彼女の前から「いなくなっ」ている。いつかきたる日に出会う、またはいま現在連れ添っている運命の相手のために努力は惜しまず、家事全般の花嫁修業は粗方こなしており、旦那の趣向に合わせてられるようにとも熱中できる趣味から夜のハードプレイに至るまで幅広い理解がある。また、常に理想の相手の隣に立つだけの女の子であるとするため、所作や言葉遣い、体形から化粧にまで気を配り、常に美しく、可憐で、かわいらしくあろうとする。努力でどうにもならない名前や経歴などは、より相手が好ましく思えるようなものに詐称する。要は理想の旦那の理想の相手であり続けようとするのだ。しかしながら、一点だけ例外があり、ファッションに関しては「ゴシックロリィタ」系統以外の衣装に身を包む気は全くないらしい。パートナーに合わせて性格を演じ分けるため彼女の本質は掴みがたいが、恋人にその全てを合わせる三歩後ろを歩く淑女を演じ切れていると勘違いしている、独善的に愛と理想の押し売りをする恋に恋した頭お花畑ガール。それが彼女である。

初恋は唐突なものであった。たしかFHに所属していた頃、仕留めるべきターゲットとして挙げられた2歳年上の少年である「椿紅サトシ」に一目惚れをした。それが彼女のオーヴァードの覚醒のきっかけにもなった。ロミオとジュリエットさながら、FHとUGNという組織の壁を乗り越え、二人はそれぞれの組織を裏切ったダブルクロスとなった。まるでアカデミー賞を受賞した映画のようなボーイミーツガールを果たした二人の逃避行は二か月と続かなかった。FHに戻ってきた彼女